

24V 電動アシスト一輪車

取扱説明書

この度は「24V 電動アシスト一輪車」をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分にご理解の上、安全に正しくお使いくださるようお願い致します。

お読み終わった後もこの取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

なお、不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「使用者が死亡事故または重傷を負う可能性が想定される」内容
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される」内容

電動工具共通の安全上のご注意

- 「電動工具」とは電源式（コード式）電動工具、または電池式（コードレス）電動工具を指します。
- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、ご使用前に必ず取扱説明書に目を通し、下記の「安全上のご注意」をすべてよくお読みの上、指示に従って正しくご使用ください。
- お読みになった取扱説明書はいつでも見られるように必ず保管しておいてください。

警 告

1. 作業場は明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や狭い作業台は、事故の原因となります。
 - ・ 強風の時や夜間や薄暗い場所での使用は危険です。昼間の明るい時間帯で作業してください。
2. ガソリン・シンナー・可燃性のガス・粉塵などの引火性の高いものの近くでは使用しないでください。
 - ・ 火花が引火して火災の原因となります。
3. 使用中は子どもや第三者を近づけないでください。
 - ・ 事故の原因となります。
4. 電源プラグは適正な電流・電圧のコンセント、発電機でご使用ください。
 - ・ 一般家庭用電源（AC100V）対応機です。出力を確認のうえ適正な電源・延長コードをご使用ください。
5. 本体・スイッチ・プラグ・バッテリーの修理や改造をしないでください。
 - ・ 本製品は該当する安全規格に適合しています。改造されると火災や感電の恐れがあります。
6. 感電に注意してください。
 - ・ 使用中に、身体をアース（接地）されているものに接触させないようにしてください。（例えば、金属製のパイプ、エアコンの室外機、電子レンジ、冷蔵庫の外枠など）
7. ペースメーカーなどをご使用の方は、稼働中の本品に近づけないでください。
 - ・ 電磁波の影響により誤作動を起こす可能性があります。
8. 雨天時の取扱に注意してください。
 - ・ 雨ざらしにしたり、極端に湿気の多い所や高温な場所で保管をしないでください。
 - ・ 濡れた手でコンセントプラグやバッテリーに触らないでください。
 - ・ 小雨、濃霧、雨天時の使用はおやめください。感電の危険があります。

9. 電源コードの扱いに注意してください。

・ 電源プラグやコードは使用前に損傷や破損がないかよく点検をしてください。使用時は無理に引っ張ったり挟み込んだりしないでください。

・ 電源コードは熱・油・角のあるところで使用しないでください。電源プラグやコードが損傷したり、傷んだりしますと、感電、火災の恐れがあります。

10. 使用環境に見合った延長コードを使用してください。

・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードの延長コードを使用してください。

11. 使用しない電動工具の保管は子どもの手の届かない、乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。

・ バッテリーは本体から抜き、充電器はプラグからコードを抜いて保管してください。

12. USB 端子付きのバッテリーは端子間に金属が触れないようにしてください。

・ 針や針金などがUSB端子内に入るとショートする恐れがあります。

13. 無理な使用を避けてください。

・ 取扱説明書にある機能を超えた作業はしないでください。能力に見合う速さで効率的に作業をしてください。

・ 小型仕様の電動工具やアタッチメントを大型の電動工具で行なうような負荷のかかる作業に使用しないでください。

・ 著しく疲れている時やアルコール、医薬品等の摂取により正常な判断ができない体調の場合は使用しないでください。

14. 作業に適した服装で行ってください。

・ だぶついた衣服やネクタイ・ネックレス等の回転部に巻き込まれる恐れがあるものは着用しないでください。

・ 屋外での作業の場合には手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

15. 安全保護具を使用してください。

・ 作業時は、保護めがねを使用してください。必要に応じて、ヘルメット、防じんマスク、防音保護具を併用してください。

16. 無理な体勢で作業しないでください。

・ 斜面など足場の不安定な場所、無理な姿勢での作業は思わぬ事故になる恐れがあります。

17. 不意な始動を避けてください。

・ 本体を移動する際はスイッチに手がかからないよう注意してください。

・ 移動、手渡し、メンテナンスの際は本体からバッテリーを抜いてください。

・ 稼働させたまま放置しないでください。

18. 破損・故障・異常がないか確認のうえ、電源を入れてください。

・ 使用前に本体の破損・部品の破損・締め付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか十分に確認してから使用してください。また、本体を誤って転倒、ぶつけた際も同様に確認してからご使用ください。

・ 故障・異常が発覚した際は、大変危険なためただちに使用をやめ、販売元または弊社まで修理依頼をお申し付けください。

・ スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

19. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

・ 点検・調整・清掃する場合は電源を切り、バッテリーを本体から抜いて作業を行ってください。

・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従って確実に取り行ってください。

・ 使用前に、調節に用いたレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。振動によって飛散し、怪我をする恐れがあります。

・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

20. 切断工具は、鋭利できれいな状態でご使用ください。

・ 適切にお手入れされることで、より安全性の高い作業をおこなうことができます。

・ 使用後はお手入れをし、状態によっては付属品の交換をしてください。

「バッテリー工具」安全上のご注意

- ここまでは電動工具共通の注意事項を記載しましたが、さらに「バッテリー工具」として以下の安全上のご注意を守ってご使用ください。（「バッテリー工具」とは、外付けのバッテリーを充電・装着して使用する電動工具のことです。）

警 告

1. 専用のバッテリー以外は使用しないでください。
2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。
3. バッテリーに釘をさしたり、衝撃を与えたりしないでください。
4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。
5. バッテリーの端子に金属などを接触させないでください。（特に金属と一緒に保管しないでください）ショートする恐れがあります。
6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温になる恐れのある場所で充電・使用・保管しないでください。
7. 極端に高温・低温・高湿度の場所で保管するとバッテリーが液漏れする恐れがあります。漏れた液はやけどや炎症の原因となりますので絶対に触らないでください。万が一目に入ったら、すみやかに水で洗い流し、眼科医を受診してください。
8. 正しく充電してください。
 - ・この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
 - ・温度が0℃未満、または温度が40℃以上の所では、バッテリーを充電しないでください。
 - ・充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
 - ・充電器を使用しない時、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
9. 専用の充電器以外では、充電しないでください。
 - ・充電以外の目的で充電器を使用しないでください。
10. バッテリーを充電したまま長期間放置・保管しないでください。
11. 次の場合は工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。
 - ・保管、または修理する場合。
 - ・付属品を交換する場合。
 - ・本体の整備や掃除をする場合。
12. 不意な始動を避けてください。
 - ・バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
13. 充電中、極端に発熱したり、膨張、発煙などの異常に気づいた場合は直ちに使用を中止してください。
14. 火災発生の恐れがある場所では充電しないでください。
 - ・ホコリのある所、燃えやすい布製品の上、ビニールなどは発火の原因となります。
15. バッテリーを水などの液体にひたさないでください。ショートの原因となります。
16. 稼働可能時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
17. 使用済みのバッテリーは一般ゴミとして捨てないでください。
18. 落したり、強い衝撃を与えられたバッテリーは使用しないでください。

「24V 電動アシスト一輪車」の安全上のご注意

●ここまでは電動工具共通の注意事項を記載しましたが、さらに「24V 電動アシスト一輪車」として以下の安全上のご注意を守ってご使用ください。

【法令を遵守してご使用ください】

- 本製品は道路交通法施行令にある「歩行補助車等」にあたり、これを操作する者は道路交通法上の「歩行者」として扱われます。歩道または路側帯の区別のある所では、歩道を走行し、歩行者の妨げとならないよう注意して安全な操作を心がけてください。路側帯の区分のない道路を走行する場合には、道路の右側端によって通行し、交通法規を遵守してください。
- 道路交通法や交通マナーに準拠できるよう、慣れるまでは障害物のない広い場所で旋回、停止、操作を練習し、安全な操作ができるよう習得してからご使用ください。
- 本体のご使用に際し、本製品に不備がない事由により使用者が第三者に損害を与えた場合は、その責任を負う義務があります。
- リチウムイオンバッテリーを処分する際はお住まいの自治体の廃棄規程に従い、正しく処分してください。廃棄方法を誤ると発火や発熱の恐れがあり大変危険です。



警 告

1. 大雨、濃霧、強風、落雷、降雪などの悪天候下での操作、走行は絶対におやめください。
2. 本製品を道路で使用する際には、できるだけ補助者に同行してもらってください。
3. 操作するときは本製品の後方に立って、周りに人がいないことを確認してから、ハンドルを両手でしっかり握って操作してください。
4. 後進で使用するときは、後方の視界や、足元などに十分注意してください。滑ったり、つまずいたりする恐れがあります。
5. 荷台に人を乗せないでください。また、荷台に家畜やペットなどの生物を乗せないでください。
6. 絶対に過積載はしないでください。取扱説明書にある積載量、積載方法を守って使用してください。
7. 積載して走行する前に必ず本製品の組み立てが確実に行われているかご確認ください。ボルトやナットのゆるみ、バケットのグラつき、ハンドルのグラつきがないか、定期的に点検し、異常がある場合には整備してから使用してください。
8. 夜間走行は視界が悪くなり周囲の状況が見にくく、歩行者や障害物などの発見が遅れます。ライトを点灯し、十分な安全を確認して操作してください。操作者の存在を周囲に認識してもらうために、高視認性安全服（反射服）、または夜光反射材の着用を推奨します。

9. 高圧線やテレビ塔など強い電磁波が出ている場所での走行は避けてください。
10. 以下のような場所では、接触、衝突、転倒などの恐れがあります。走行を避けるか、補助者に同行してもらおうなどして、十分な安全確認や脱輪予防をしてください。
幅の広い道路の横断 / 側溝や路肩付近 / 急な坂道 / 大きな溝やぬかるみ、凸凹のある道 / 雪道、凍結路面などのある悪路 / 下り坂での後進 / 傾斜面の横断 / 混雑している場所 / 交通量の多い道路 / 狭い道
11. 滑りやすく、ゆるく、不安定な地形での操作には十分に注意し速度を下げたて行き、なるべく補助者に同行してもらおうようにしてください。濡れた芝生の上、雪や氷などの濡れた滑りやすい路面、砂や砂利の表面などのゆるく不安定な地形では、牽引力を失い、操作が不安定になる場合があります。
12. 踏切内で立ち往生してしまう恐れがあるため、踏切の横断はできるだけ避けてください。
13. やむをえず踏切を横断する場合には、バッテリーの残容量が十分か確認のうえ、警報機が鳴り始めているときや、遮断機が下り始めているときには、踏切内に入らないでください。
14. 転倒を避けるために、平地または 15° 以下の傾斜地で使用してください。
15. 使用中に異常が発生した場合は、直ちに走行操作をやめ、平坦な場所に停止して電源を切ってください。
16. 点検を行う前には、ロックキーとバッテリーを外してください。
17. 壁の近くで操作するときは、ハンドルと壁の間に手を挟まないように注意してください。
18. 低温の環境下で使用する場合、手袋を使用してください。製品の金属部分に触れた手のはりつく恐れがあります。
19. 炎天下の作業では手袋を使用し、製品の金属部に触れないようにしてください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。
20. 本製品を旋回させるときは、速度を下げゆっくりと慎重に操作してください。説明書にある仕様を超えた可動域を無理に操作しないでください。
21. 傾斜地や不安定な地形での操作では、可能な限り積載量を最低限に抑えて使用するようしてください。ハンドル操作で制御しきれない積載量での操作は転倒の恐れがあります。
22. 下り坂での走行時には、傾斜の手前で一旦停止し、ハンドル操作で減速させながら十分に注意し走行してください。
23. 傾斜地ではロープなどで荷物をしっかりとバケットに固定してください。
24. 傾斜地で本製品を停車しないでください。停車するときは、平坦な場所まで移動させて停止し、電源を切ってください。
25. 傾斜地を走行中に方向転換や変速はしないでください。転倒や転落の恐れがあります。

26. 上り坂ではスイッチレバーから手を放さないでください。本製品が後進する恐れがあります。
27. 坂道での走行は、事前にバッテリーの残容量が十分であることを確認してください。バッテリーの残容量が少ない場合は、走行する前に充電されたバッテリーに切り換えるか、使用中のバッテリーを充電しなおしてください。
28. 進行方向に人や障害物がある場合はあらかじめ避けて走行してください。
29. 坂道で本製品を発進する際、本製品が一時的に後退するため、発進時には少し前へ押し出すようにし、タイヤの後ろに足をおかないでください。
30. 積荷が多くなるほど本製品を操作しづらくなるため、規定の積載量を超えていなくても、操作に影響がない範囲にとどめてください。
31. バケットに積載した荷物は、荷崩れしないようにロープなどでしっかりと固定してください。
32. バケットからはみ出して荷物を積載しないでください。荷物が落下したり、荷物が接触して、運転に支障をきたしたり、事故の恐れがあります。
33. 荷台に荷物を高く積載しないでください。前方の視界をさまたげるため、運転に支障をきたしたり、事故の恐れがあります。また、重心が高くなり、転倒の恐れがあります。
34. 荷物は荷台に均等に積載してください。かたよって荷物を積載すると、不安定になるため、運転に支障をきたしたり、事故の恐れがあります。また、転倒の恐れがあります。
35. 積載する際は重心が低くなるように、重い荷物を下に積んでください。
36. 荷物の積み降ろしは平地で行ってください。
37. 木橋などを渡るときは、製品重量、積載量、および運転者の体重の総和が木橋などの制限重量を超えないことを確認し、速度を下げ慎重に通行してください。
38. 転倒、落下により危険が生じるもの（ガソリン、薬品、高圧ガスなど）を運搬しないでください。転倒、落下した場合、事故につながる恐れがあります。
39. トラック等に積み込み作業する際、ラダーは荷台の高さの 4 倍以上の長さがあり、荷台に適した固定具付きで、滑り止めが付いていて、十分な幅があり、本製品と操作者の重量に十分耐えうるものを使用してください。ラダーに付属の取扱説明書をよくお読みになって使用してください。
40. トラックへの積荷作業前には周囲に人がいないことを確認し、脱輪しないように注意して、速度を十分に下げ注意深く積み込みおよび積み降ろしを行ってください。トラックの天井など頭上に注意して作業してください。後進で積み込みまたは積み降ろしする際は後方に十分に注意して行ってください。
41. 本製品を輸送する際は、本製品の電源を切り、ロックキーおよびバッテリーを取りはずして、本製品を確実に固定してください。

基本仕様

24V 電動アシスト一輪車		LX CH602-JP
電圧 (バッテリー)	24V (リチウムイオンバッテリー)	
バッテリー稼働時間	約 75 分 (走行距離最長約 6km) ※ 1	
モーター最大出力	200W	
最高速度	ハイギア [2] : 6km/h ローギア [1] : 3km/h	
最大上昇傾斜度	15度 ※ 2	
最大載積重量	100kg ※ 3	
組み立て時間目安	30分 (二人で組み立て時)	
サイズ (約)	本体:幅68×奥行119×高さ73 cm バケット:幅68×奥行80×高さ25cm 梱包サイズ:幅89.5×奥行72×高さ53.5cm	
重さ (約)	本体 (組立時): 24.6kg バッテリー : 440g	
製造国	中国製	

充電アダプター	
電圧	100V
周波数	50-60Hz
充電時間目安	約 80 分 ※ 4

※ 1 バッテリー稼働時間は新品・無負荷時での作動時間の計測値です。使用状況や積載重量によって実際の使用可能時間とは異なりますのでご了承ください。

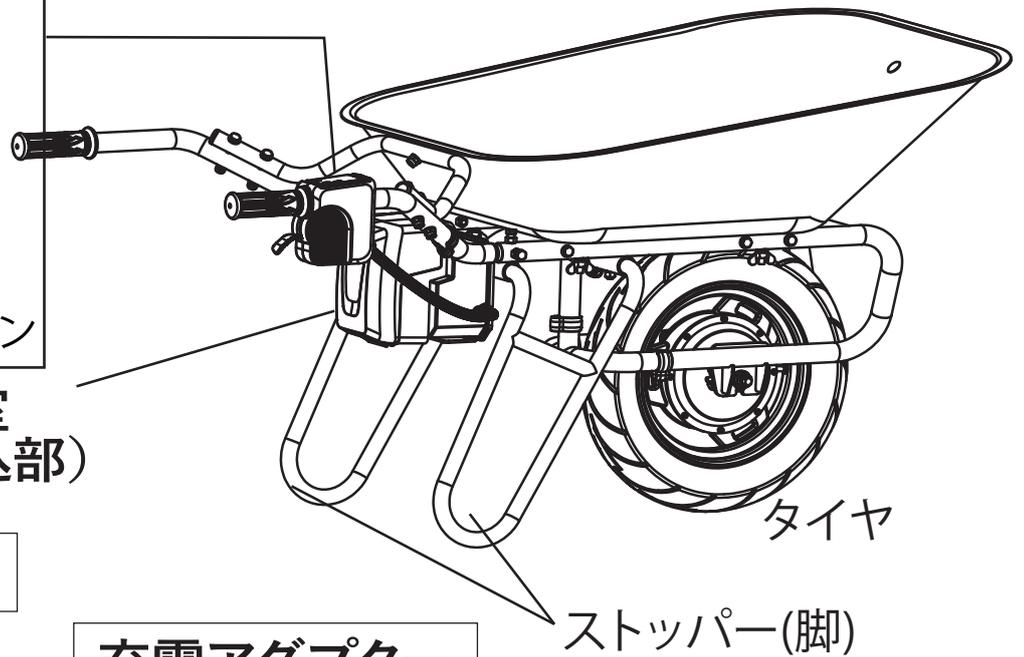
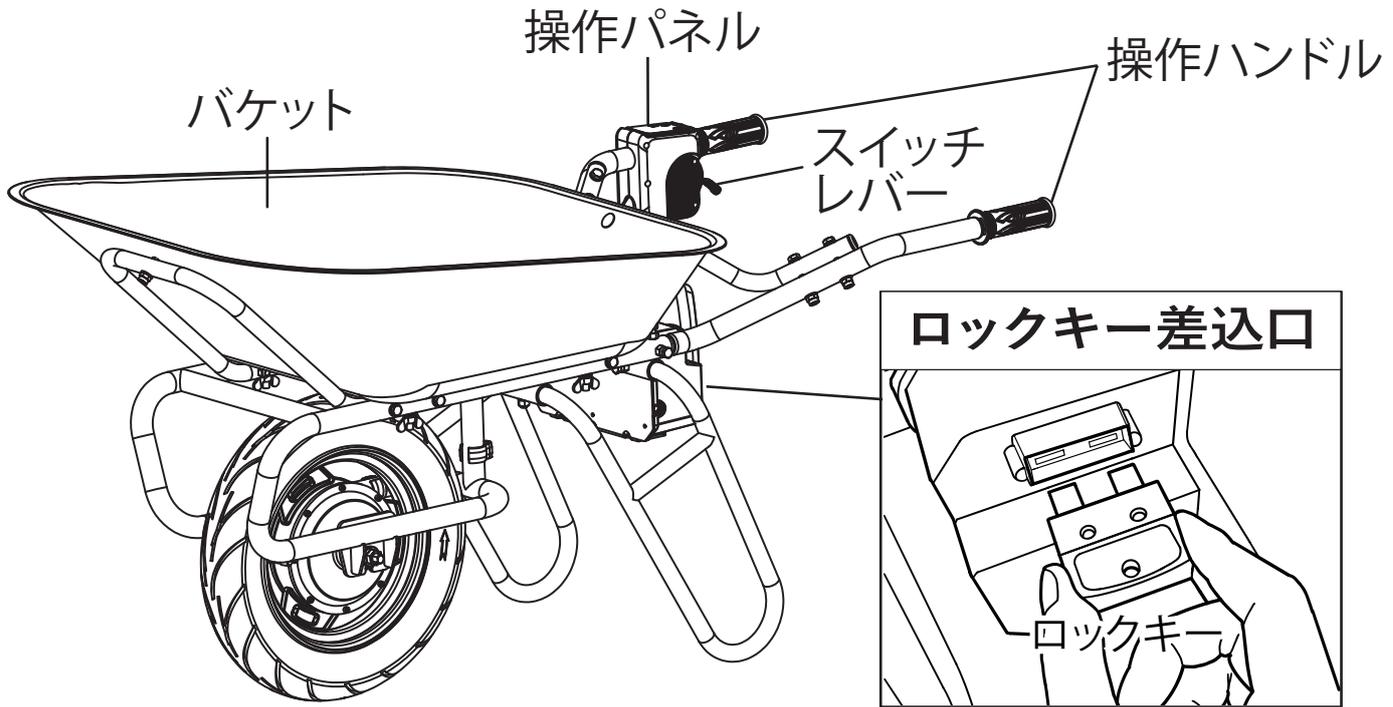
※ 2 限界傾斜角度にかかわらず、傾斜地で使用する際にはできるだけ積荷の載積量を抑えるようにしてください。上昇傾斜地での操作可能性は載積重量、地面の状態、作業者の体力や体格によって異なります。

※ 3 最大載積重量にかかわらず、地面の状態、作業者の体力に合わせて操作可能な載積重量にとどめてください。

※ 4 経年劣化とバッテリーの摩耗により、バッテリーの持ち時間と充電時間は変化します。また、充電している場所の室温によっても、充電時間が長くなる場合があります。

各部名称

※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。

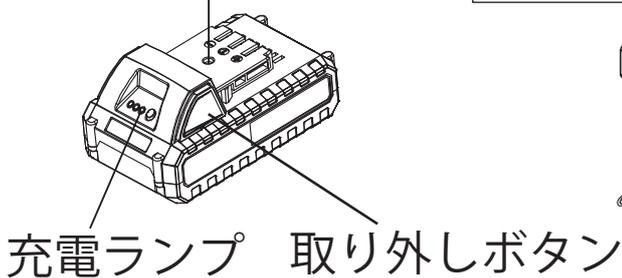


バッテリー室
(バッテリー差込部)

24Vバッテリー

充電端子差込口

充電アダプター

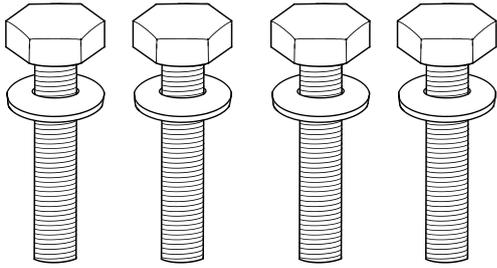


付属部品名称 (セット内容)

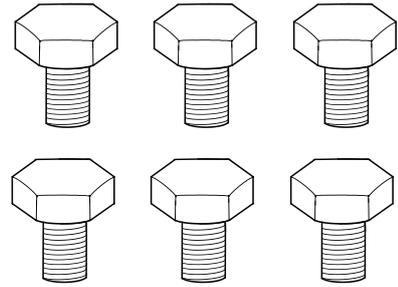
※部品の一部は本体側に取り付けられた状態で梱包されています。パーツは一度取り外してから組み立て作業をおこなってください。

組み立て用部品

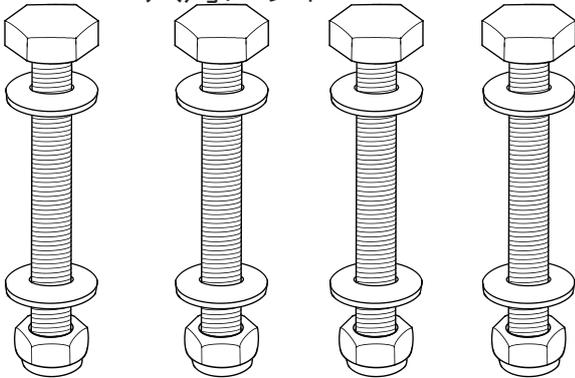
- ①ハンドル・脚取り付け用ネジ
ネジ×4、ワッシャー×4



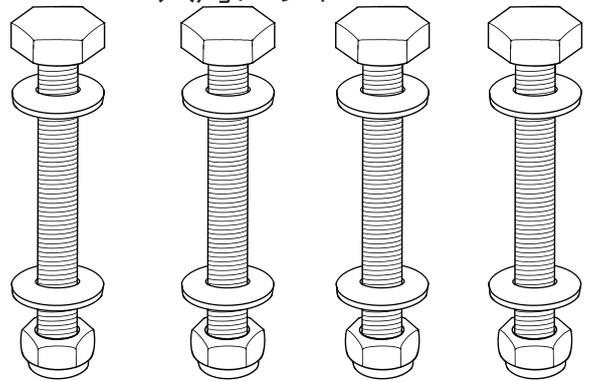
- ②ハンドル・脚固定用ネジ
ネジ×6



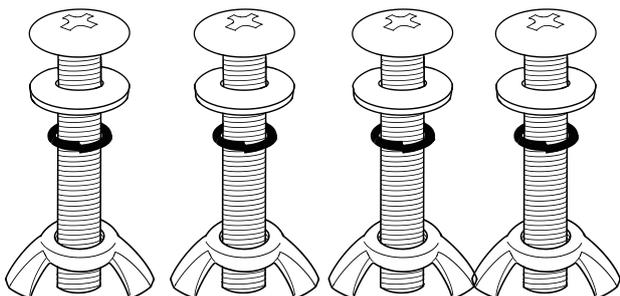
- ③操作ハンドル固定バー用ネジ
ネジ×4、ワッシャー×8
六角ナット×4



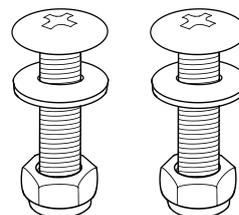
- ④バケット固定バー用ネジ
ネジ×4、ワッシャー×8
六角ナット×4



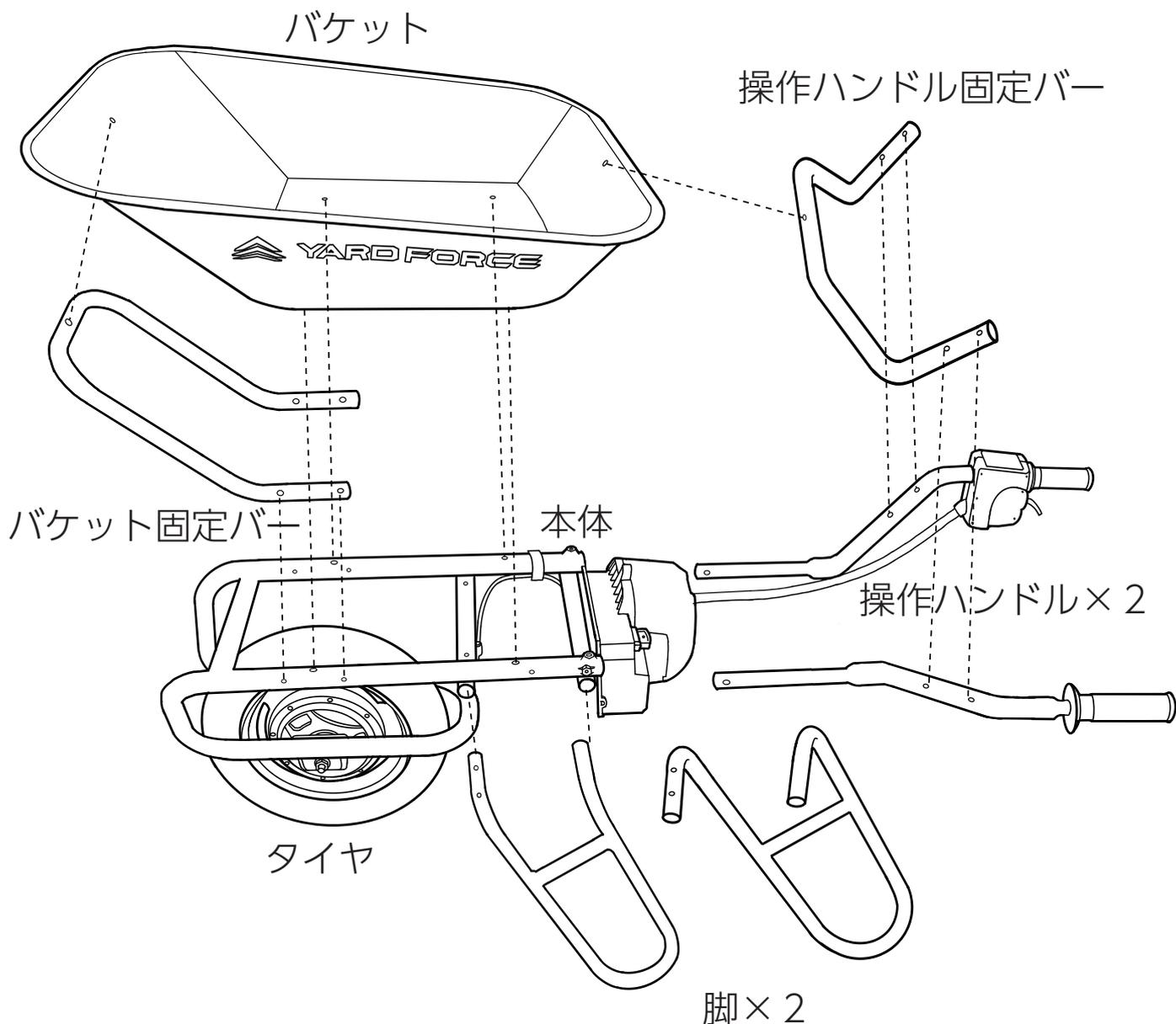
- ⑤バケット固定用ネジ A
ネジ×4、ワッシャー×4
バネ座金×4、蝶ナット×4



- ⑥バケット固定用ネジ B
ネジ×2、ワッシャー×2
六角ナット×2



本体パーツ



※お届けの状態では脚は通常とは逆側に取り付けられています。

この製品は組立式です。取扱説明書をよく読み正しく組み立てをし、確実に固定をしてから稼働させるようにしてください。バッテリーが装着された状態での組立や解体はお避けください。

※組み立て前に、全てのパーツが揃っているか確認してください。

※お届けの状態ではパーツの位置は正しい方向にセットされていません。上図を参考に、パーツを全て正確な位置と向きにセッティングしてから組み立て始めてください。

※操作ハンドルと本体は電線コードで繋がっています。

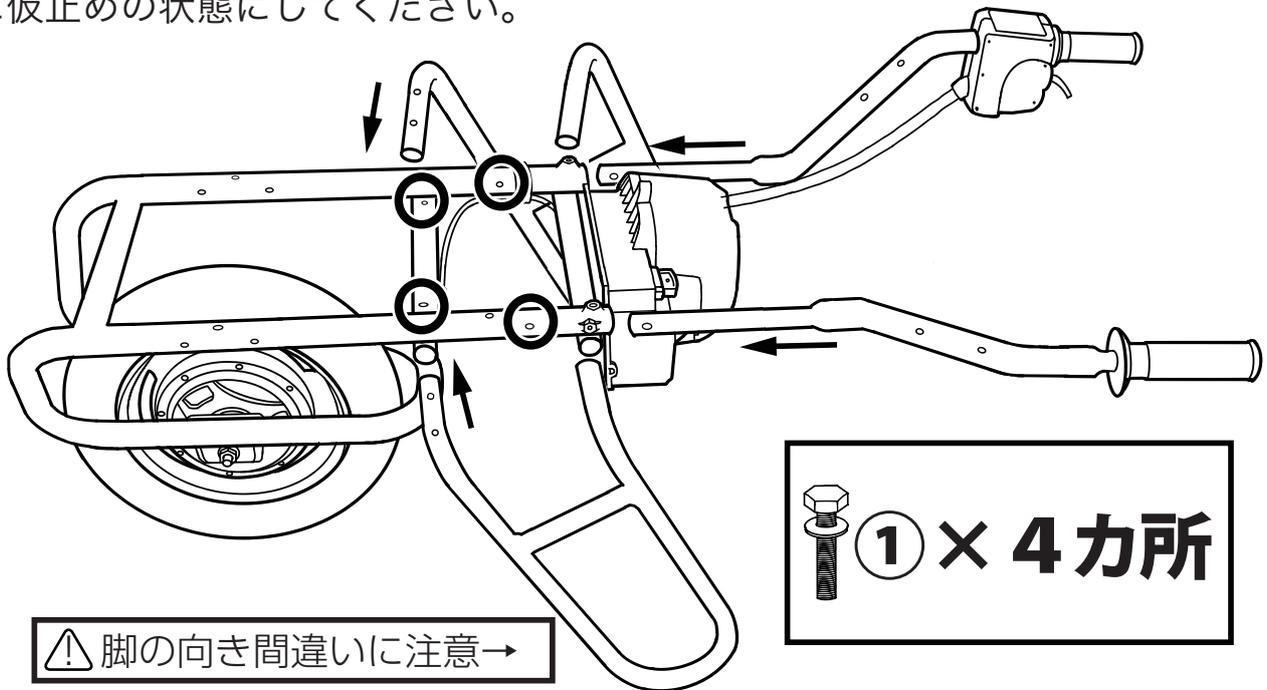
※組み立てには大人二人での作業が推奨されます。組立時間の目安は約30分です。

組み立て方 (1)

脚・操作ハンドルを取り付ける

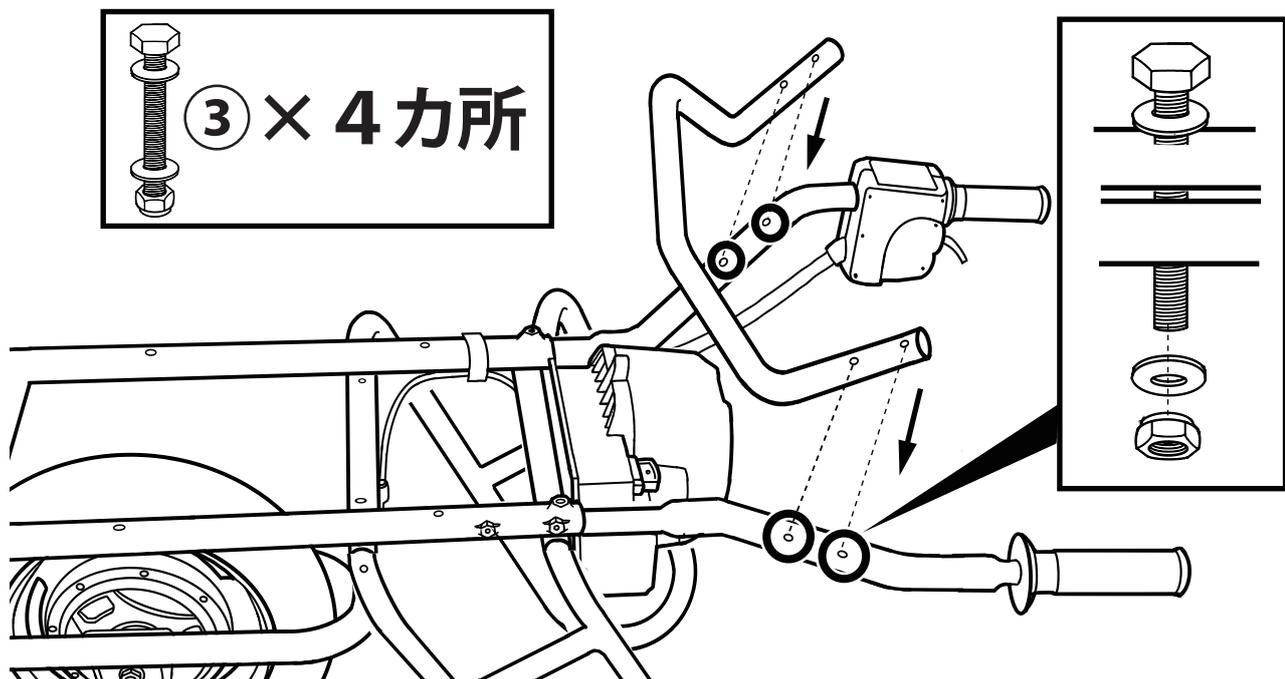
※必ずお届けの状態から、脚を左右入れ替えて取り付けてください。
本体に脚を差し込み、①の脚取り付け用ネジで2カ所を固定します。

①のハンドル取り付け用ネジで2カ所を固定します。この時、ネジは最後までしめずに仮止めの状態にしてください。



操作ハンドル固定バーを取り付ける

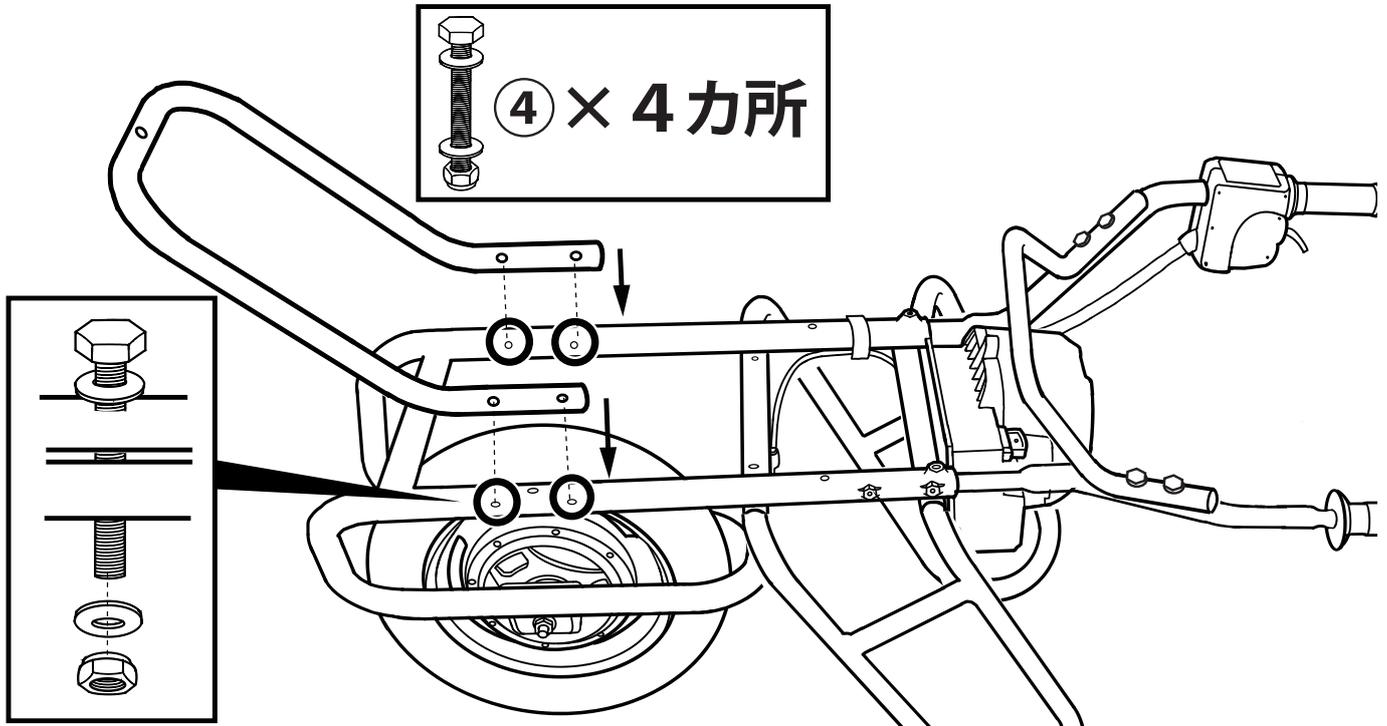
操作ハンドルの向きを確認し、固定しながら③の操作ハンドル固定バー用ネジで4カ所を止めます。ワッシャーを両側から挟み込むようにしてください。この時、ネジは最後までしめずに仮止めの状態にしてください。



組み立て方 (2)

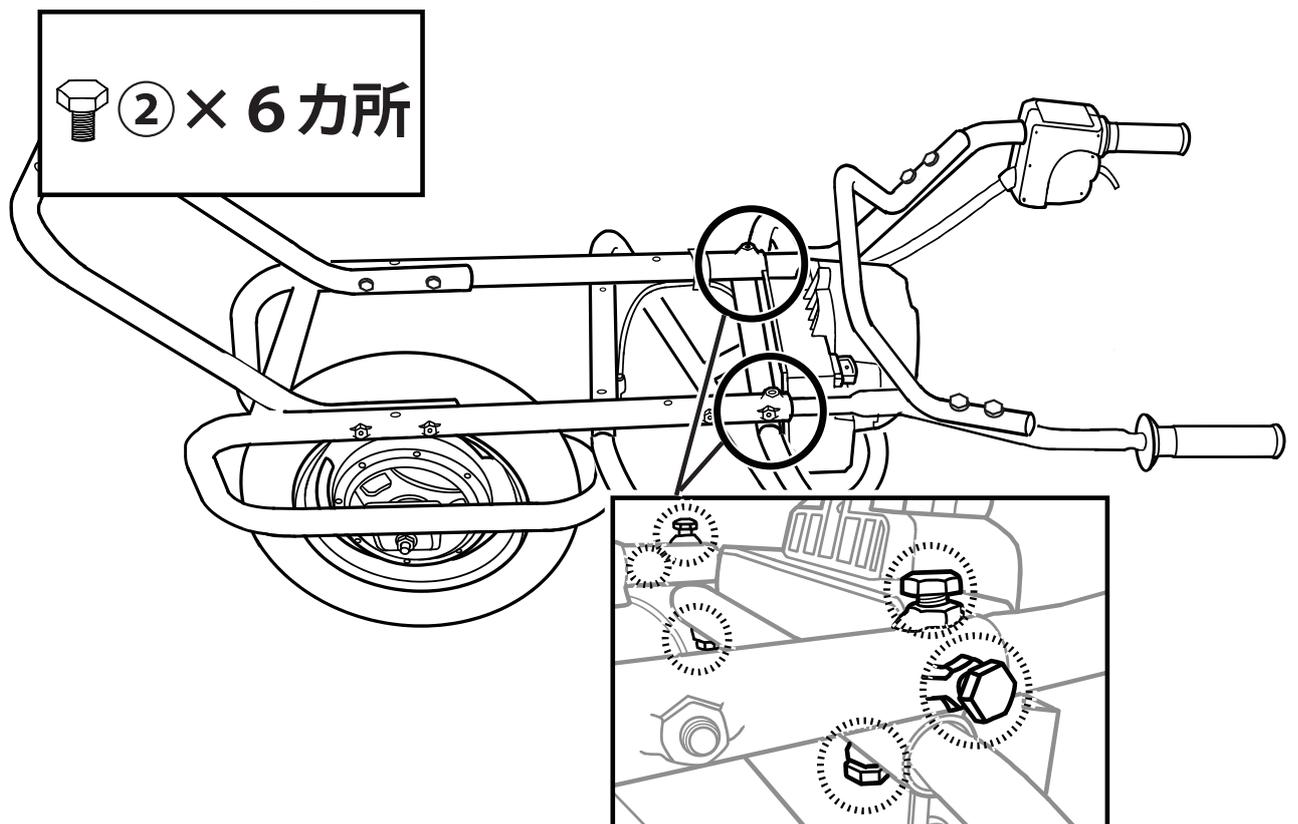
バケット固定バーを取り付ける

④バケット固定バー用ネジで4カ所を止めます。ワッシャーを両側から挟み込むようにしてください。この時、ネジは最後までしめずに仮止めの状態にしてください。



脚・操作ハンドルの固定ネジを取り付ける

6カ所を②の脚・操作ハンドル固定用ネジで留めることで、取り付けした脚と操作ハンドルのグラつきが抑えられます。

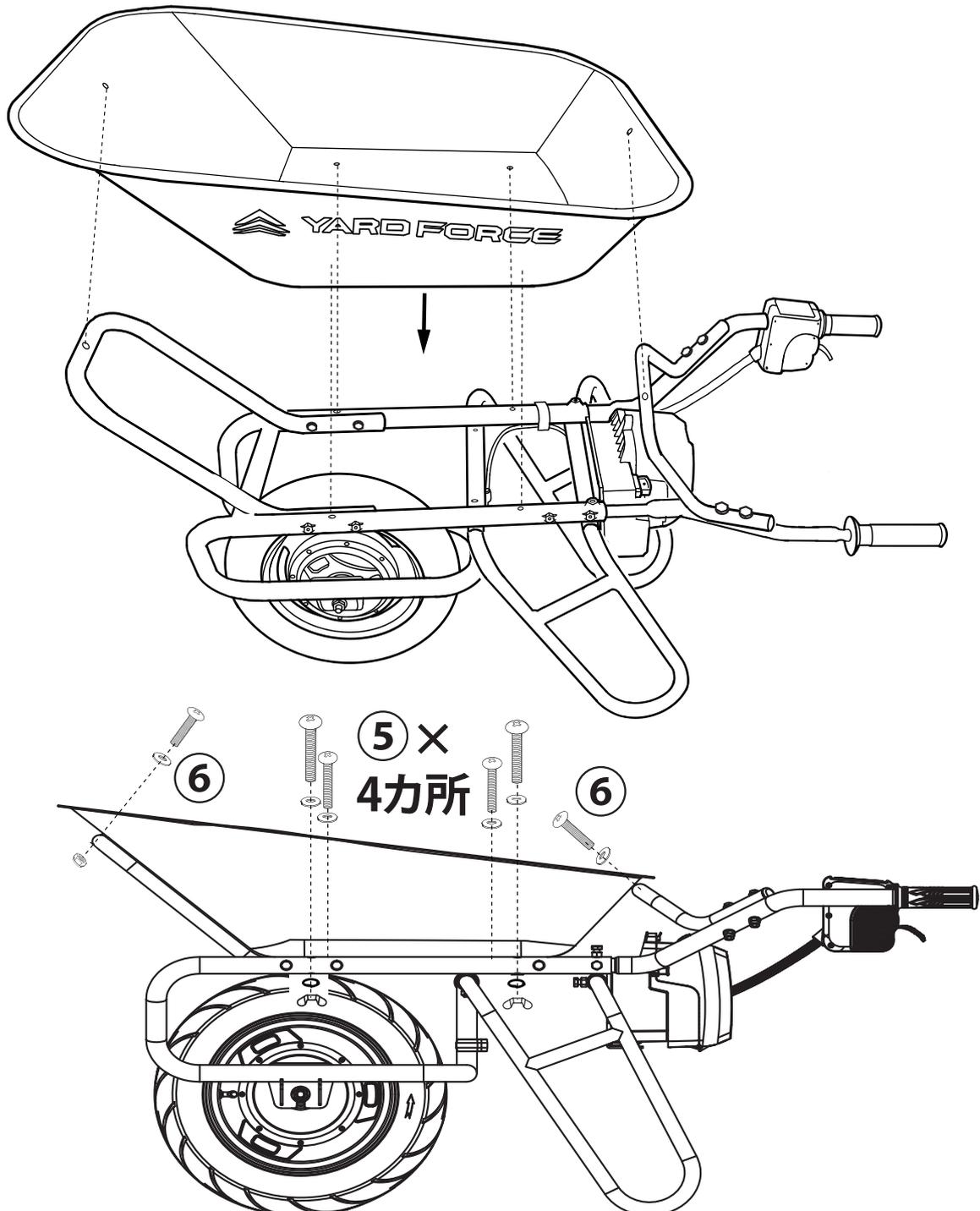


組み立て方 (3)

バケットを取り付ける

本体の上にバケットをのせ、4カ所を⑤バケット固定用ネジ A で固定します。はじめに4カ所を仮止めし、仕上げに裏側から蝶ナットで締め上げるようにします。ワッシャーを上側、バネ座金を下から挟み込むようにして止めてください。

最後に前側と後ろ側の2カ所を⑥バケット固定用ネジ B で止めていきます。うまくハマらない場合には、①操作ハンドル取り付け用ネジ、③操作ハンドル固定バー用ネジ、および④バケット固定バー用ネジを緩めて調整してください。



バケット固定用ネジ B の取り付けが終わったら、最後に、全ての仮止めしていた取り付け用ネジを最後まで締めて完成です。

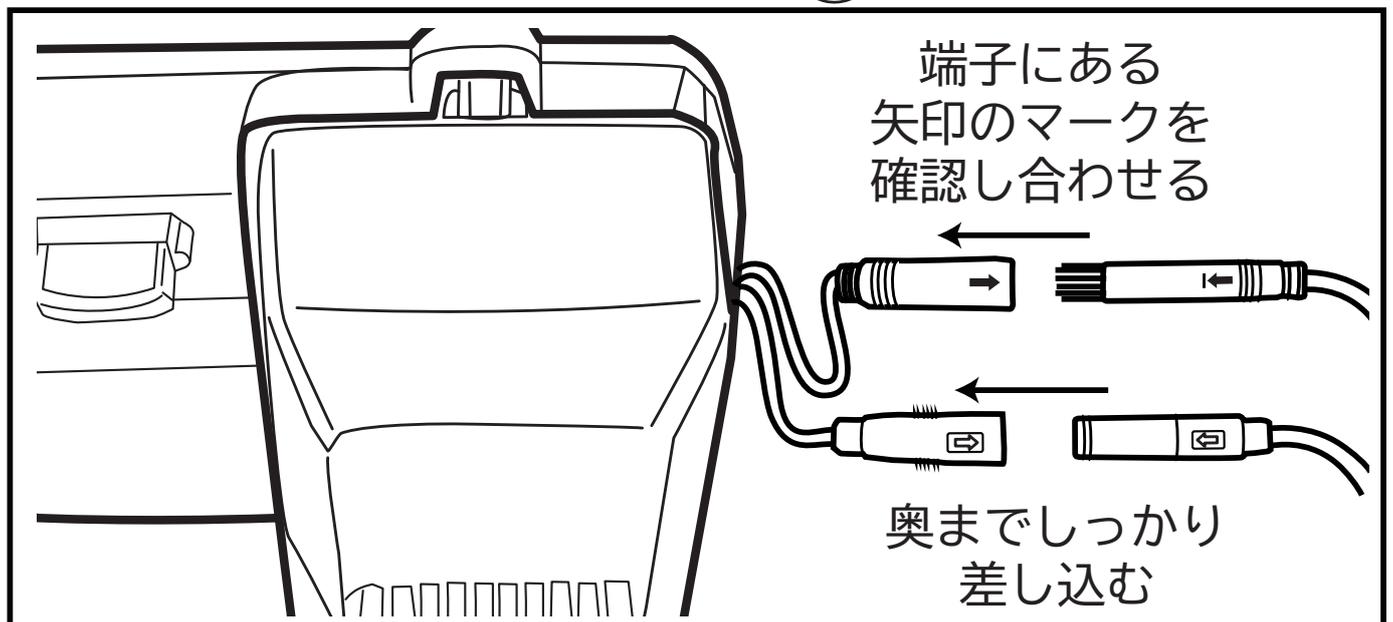
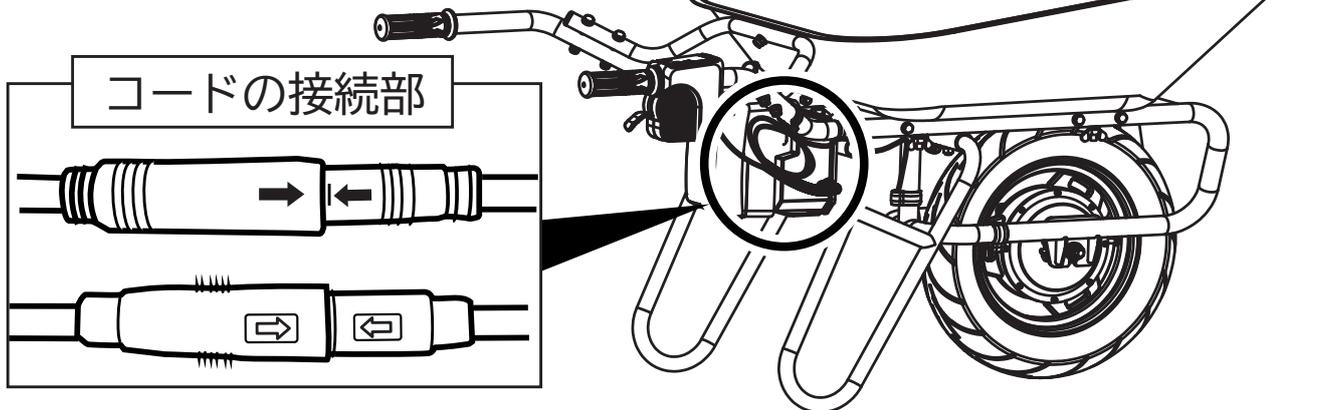
接続コードの確認

タイヤおよびスイッチパネルと制御パネルをつなぐ接続コードは、各パーツの修理・交換のために取り外しが容易にできる仕組みになっています。組み立て後、コードの接続に不備がないか、接続が外れていないか、コードの接続をよく確認してください。

警告

- 1, コードの接続部分を水に浸したり、水を強くかけ続けたりしないでください。故障や感電の原因となり、大変危険です。
- 2, コードの接続端子が奥までしっかり差し込まれているかよく確認してください。端子が防水カバーから剥き出しになっている状態で使用すると、故障や火事の原因になります。
- 3, コードは接続した状態で保管してください。電極部が金属に触れたり、雨風にさらされると故障の原因となります。

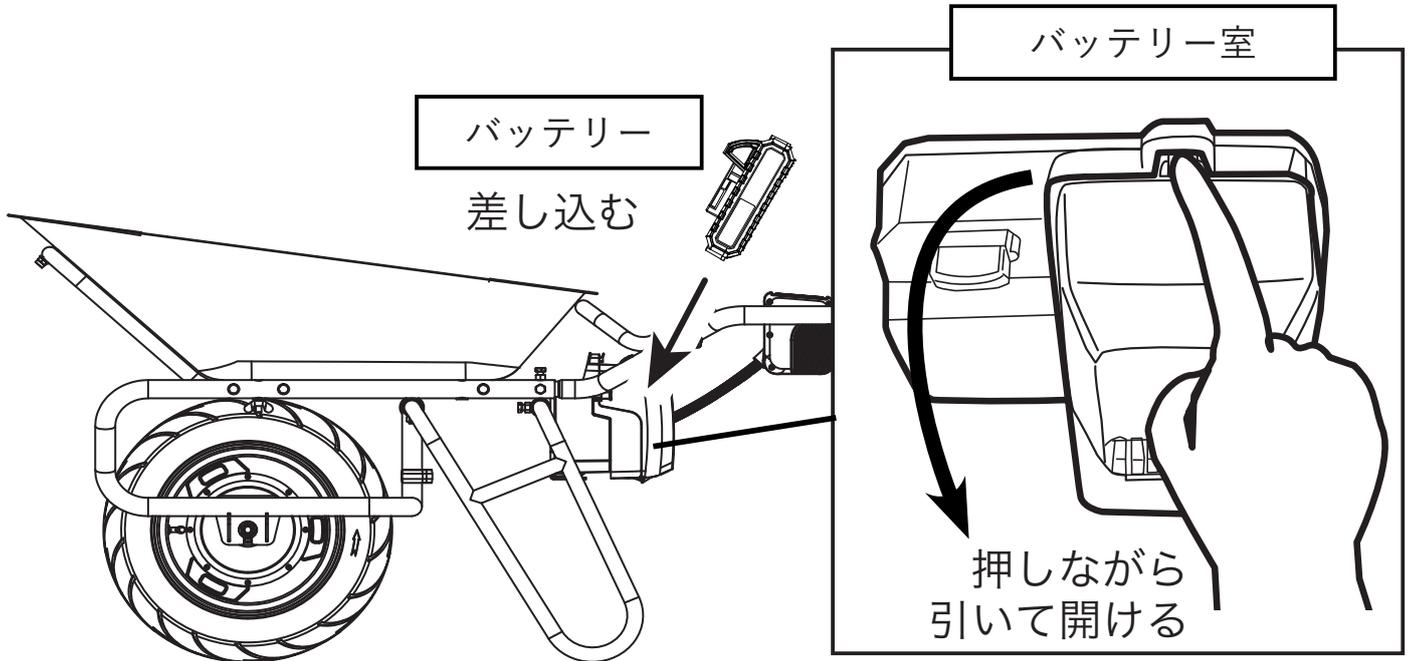
⚠ コードの接続部のマークが合っていないと奥まで差し込むことができません。



バッテリーの取り付け・取り外し方

バッテリーの取り付けは必ず全ての組立や接続が完了した後におこなってください。

バッテリー室のカバーを開けてから、バッテリー差込口にまっすぐ奥までしっかり押し込んでください。「カチッ」とつめのはまった音がします。



※バッテリーがずれたまま入っていると、奥まで押し込めないことがあります。
溝にしっかりはまっていることをご確認ください

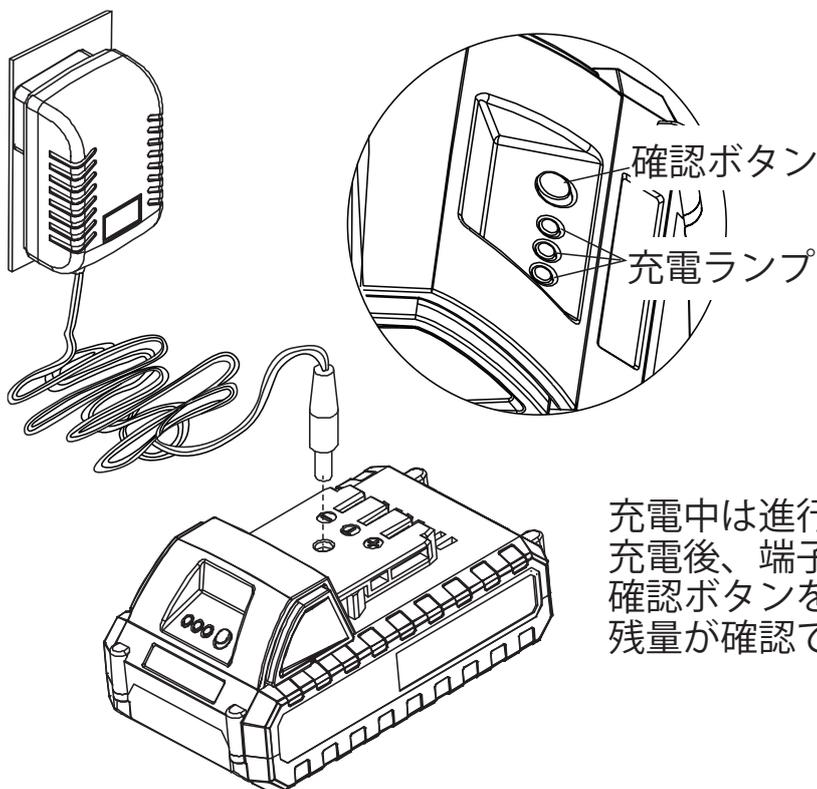
取り外す時は、バッテリーの取り外しボタンを両側からしっかり押し込みながら、引き抜いてください。(バッテリーは取り外さないで充電ができません。)



※バッテリーの取り付け・取り外しは電源をオフにしてから行なってください。

作業の前に

充電方法: バッテリーは工場出荷後、放電により十分に充電されていない場合があります。使用前にバッテリーに関する全ての注意事項を確認し、バッテリーを充電してください。充電アダプターの端子をバッテリーの充電端子差込口に直接差し込んで充電します。※このバッテリーは追加充電可能です。※充電しながら製品を使用することはできません。



充電ランプの見方

点滅→充電中
1つ点灯→残量 30%
すぐに充電してください。
2つ点灯→残量 60%
まもなく充電が完了します。
3つ点灯→充電完了
バッテリーはフル充電です。

充電中は進行中の充電ランプが点滅します。充電後、端子を抜くとランプは消灯しますが、確認ボタンを押すとランプが点灯し、バッテリー残量が確認できます。

※充電アダプターに記載された電圧とバッテリーの電圧があっているか確認してからコンセントに差し込んでください。

警告

- 1, バッテリー自体の劣化や本体モーターのオーバーヒートを防ぐことを目的に、このバッテリーには安全装置が内蔵されています。
 - ・使用中、長時間の使用や過重作業など負荷がかかりすぎた場合にはバッテリーが自動停止することがあります。この場合、スイッチを入れても本機は稼働しなくなります。
 - ・バッテリーが自動停止した場合は作業を停止し、本体スイッチを切り、バッテリーを取り外して、30分以上本体とバッテリーを休ませてください。
- 2, バッテリーの容量が少なくなると自動停止します。
 - ・残量不足によって自動停止したバッテリーは、その後すぐスイッチを入れ直すと再び稼働することがあります。この場合でも使用を中止しバッテリーを充電してください。
 - ・別のバッテリーに替える場合は、バッテリー交換後本体を30分以上休ませるようにしてください。
- 3, バッテリーを完全に放電させると、バッテリーが損傷する恐れがあります。
 - ・電池残量不足で停止するようになった状態で製品を使用、保管しないでください。
 - ・損傷のあるバッテリーを長期間保管後に使用すると、破裂の恐れがあり大変危険です。

バッテリー寿命を保ために

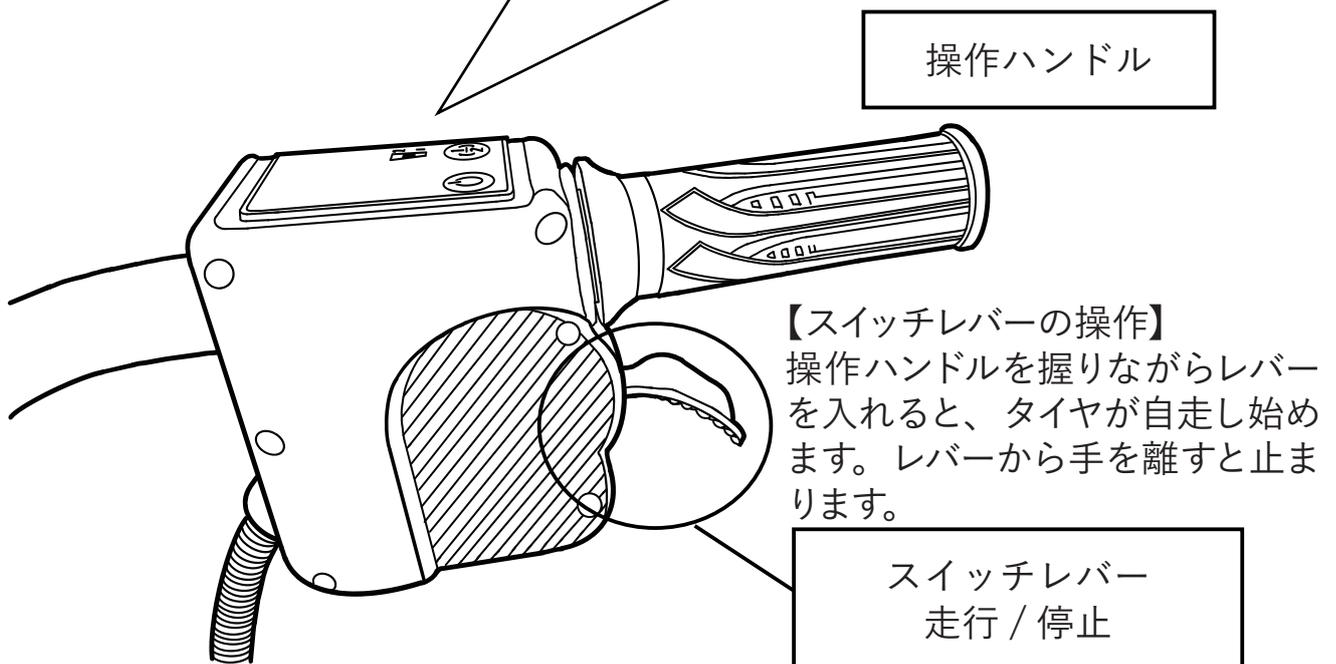
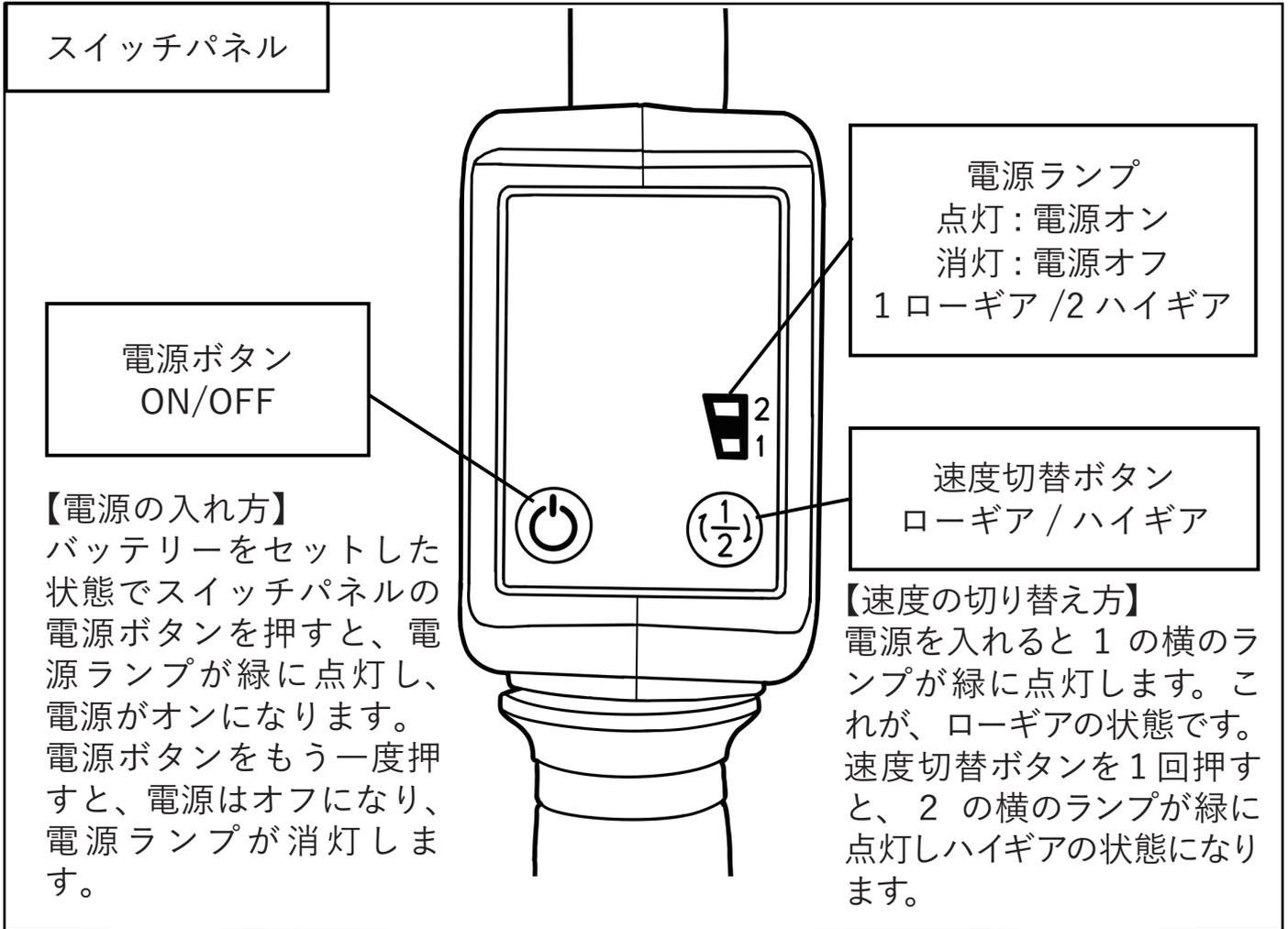
注 意

- ・残量が少なくなってきたバッテリーは出来るだけ早めに充電してください。
- ・完全に放電すると蓄電機能が劣化し、再充電が出来なくなる恐れがあります。
- ・残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると、使用時間が極端に短くなるか、再充電出来なくなる場合があります。
- ・バッテリー寿命をより保つためには、定期的に電力を消費し、容量を消耗するたびにバッテリーを充電するのが理想的です。
- ・連続使用後の製品はバッテリーが高温になっています。充電する前に少し時間をおき、十分冷ましてから充電をし始めることによりバッテリーにかかる負荷が減ります。
- ・バッテリーは0°C～40°Cの間で給電できるように設計されています。冷たすぎたり熱すぎたりすると、うまくバッテリー充電ができません。本体が冷えすぎてなかなか充電できない場合は、温かい室温の場所にしばらくおいてください。
- ・充電中にバッテリーやケーブルが熱くなる場合がありますが、これは正常であり、障害を示すものではありません。
- ・ただし、異常に熱くなった場合には電力供給を一旦停止し、冷却時間を設けるようにしてください。また充電が終了し満充電の状態のまま長時間充電したままにしないようにしてください。
- ・機器の動作時間が大幅に短縮され、バッテリーの充電時間が短縮された場合は、バッテリーの容量が減少しているため、交換する必要があることを示しています。

操作方法（1）

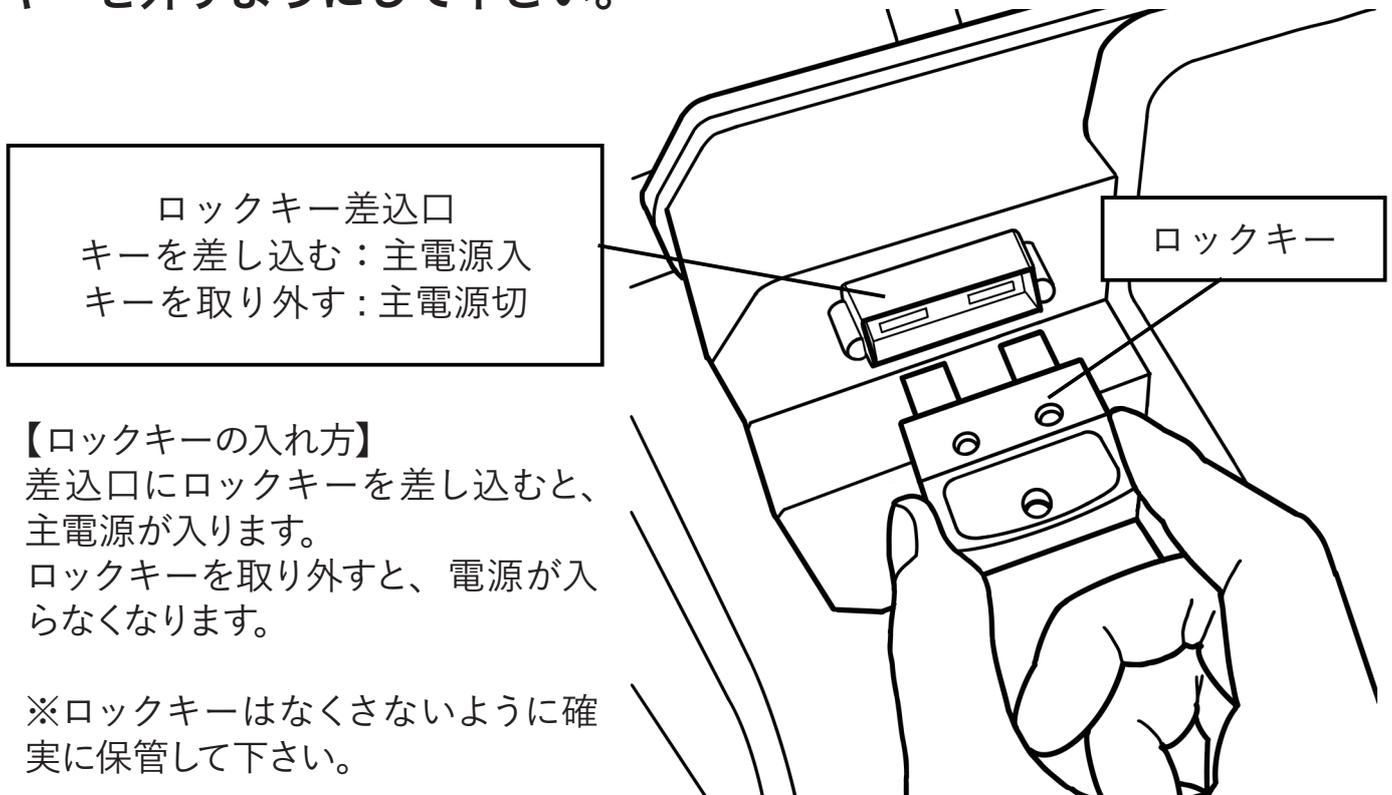
稼働スイッチの操作方法：

電源のオンオフはスイッチパネルで操作します。タイヤ走行の稼働は操作ハンドルにあるスイッチレバーで操作します。



ロックキーの操作方法：

安全のため、本体はキーで主電源を操作するキーロック方式になっています。使用しない時はロックキーを外すようにして下さい。

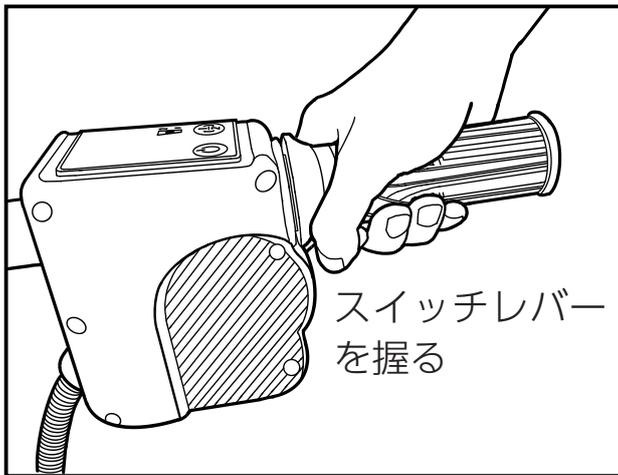


⚠ 注意

- ・速度を切り替える時は、レバーから手を離し、走行を完全に停止した状態で行ってください。絶対にレバーを握りながら切替ボタンを押さないでください。
急にスピードが切替わると転倒や事故の原因となります。
- ・タイヤを損傷する恐れのある小石の大きい砂利道や、極端に凸凹のある道を走行させないでください。
- ・ぬかるみがある道、水たまりの多い道の走行はお避けください。
タイヤが空転したり、モーターに過負荷がかかり、故障の原因となります。
- ・使用範囲内であっても、過度に重い荷物を乗せての走行や急坂での走行時には無理に操作せず、操作性を十分に確認してから使用してください。
- ・へりに強くぶつかったり、側溝にハマったり、急坂発進で停止した場合、使用を一度停止して下さい。本製品の電源を切り、バッテリーを取り外し完全に冷まします。再起動する前に、製品に損傷がないか十分に点検し、損傷があれば修理してください。

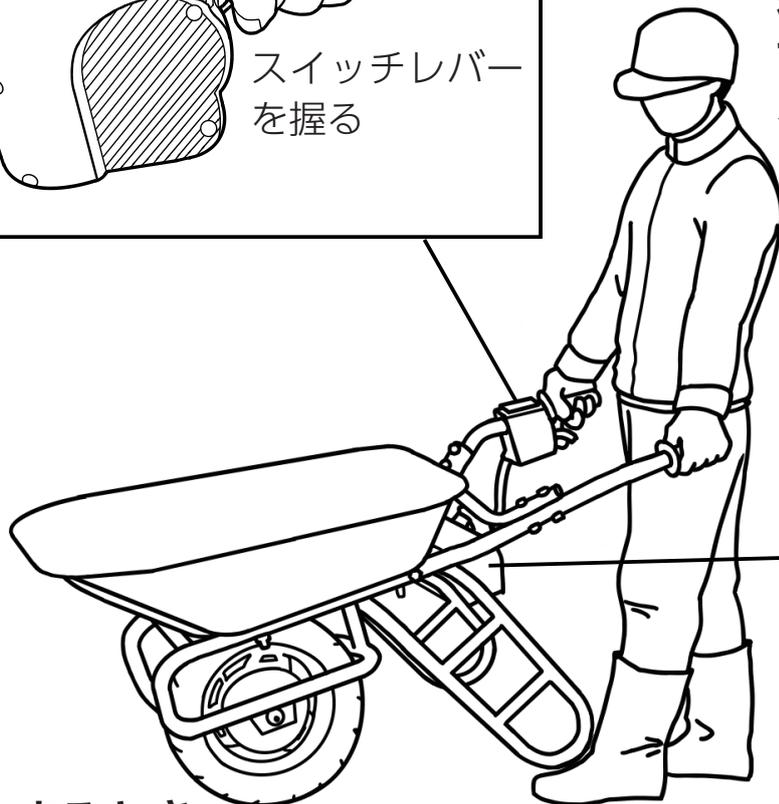
操作方法（2）

ロックキーを差し込み、主電源を入れます。電源ボタンを押して電源をオンにします。レバーを握ると車輪が前へ自走しようとするので、それに合わせて足を前に踏み出します。バランスをとりながら、走行に合わせて歩みを進行し、ハンドル方向を操作して下さい。停止するときには、レバーから手を離します。



台車の自動走行に合わせて足を前に踏み出しながら操作する。

※バランスを取りながら走行する必要があります。必ず両手で操作ハンドルを支えながら操作して下さい。



停止するとき

スイッチレバーから手を離すとタイヤに自動ブレーキがかかります。レバーから手を離すのに合わせて歩行を止めて下さい。

バックするとき

電源がオンの時、レバーを握っていない状態では自動ブレーキがかかっているため手動では前進も後退もできません。バック（後退）するときには、電源をオフにしてから操作します。

手動操作するとき

電源を切り、ロックキーを外してから操作して下さい。

坂道で停止するとき

坂道で停止するときには、必ず電源をオンのままにして停止して下さい。坂道で停止させた状態で電源をオフにすると、タイヤが後退しはじめ大変危険です。電源をオフにする場合は一旦、平らな場所まで本体を移動して下さい。

坂道を下るとき

電源入れ、自動ブレーキを効かせながらローギアでゆっくり前進してください。

お手入れと保管



- 1, 本体を水に長くつけたり、水中での使用はしないでください。故障や感電の原因となり、大変危険です。
- 2, バッテリー・バッテリー室に長時間水をかけたり、水洗いしないでください。故障や感電の原因となり、大変危険です。
- 3, 途中で操作ハンドルが濡れたり、バッテリー室が泥水で汚れたりした時はそのまま使わずにすぐに拭いてください。

お手入れ：

- ・使用後のバケツやタイヤについた土、砂埃などは、ホース等で水をかけて洗うことができます。洗った後は乾いた布でよく水滴を拭き取ってください。
- ・バッテリー・バッテリー室についた泥汚れや砂埃などは、乾いた布でよく拭き取ってください。
- ・本製品の洗浄には、化学薬品、アルカリ剤、研磨剤などの刺激の強い洗剤や消毒剤を使用しないでください。
- ・定期的にナットやネジが緩んでいないか点検し、緩んでいる場合は締め直してください。
- ・操作ハンドルなどに破損が見られる場合はそのまま使用せず交換パーツとお取替えてください。
- ・タイヤについた泥汚れ、泥水、草木や根の絡まりは、必ず使用前に取り除いて下さい。

保管：

- ・保管するときはバッテリーを外し、ロックキーを外した状態で保管して下さい。
- ・バッテリーは本体から取り外し、充電してから、電極部が金属に触れないようにして保管してください。
- ・バッテリーを充電したまま放置したり、コンセントにさしたまま保管しないでください。
- ・乾燥した場所に保管してください。
- ・子どもの手が届くところ、または錠が掛からないところに置かないでください。
- ・風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かないでください。
- ・直射日光が当たったり、車内など高温になるところには置かないでください。
- ・ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かないでください。

故障・修理：

修理はご自分でなさらず、不具合のある場合には直ちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または弊社にお申しつけください。

故障かな？と思ったら

よくあるお問合せ	ご確認ください。
稼働できない	<ul style="list-style-type: none"> - バッテリーランプをご確認ください。 - 主電源はロックキー方式になっています。キーを差し込んでいるかご確認ください。 - 電源スイッチはオンになっていますか。操作方法をご確認ください。 - コードの接続が外れていませんか？ P15 を参考に接続をご確認ください。
後退できない、動かせない	<ul style="list-style-type: none"> - 電源が入っている時、安全性のためタイヤには自動ブレーキがかかっています。手動操作ではタイヤが動かせないため、電源をオフにしてから後退してください。
異音がする	<ul style="list-style-type: none"> - 使用中にモーターから通常とは違う稼働音がした場合は一旦止め、本体を休ませてください。
使用中に突然停止し、稼働できなくなった	<ul style="list-style-type: none"> - 過度に荷重をかけすぎたり、急傾斜を無理に発進したりするなど、タイヤに過負荷がかかると稼働できないことがあります。 - 炎天下での使用や過負荷での稼働時にバッテリーの内蔵自動ブレーカーが作動することがあります。ブレーカーはサーモスタット方式です。一度バッテリーを休ませ、十分に冷ましてからご使用ください。すぐに充電しないでください。
バッテリーの充電がうまくできない	<ul style="list-style-type: none"> - ご使用の充電器の電圧がバッテリーと合っているかご確認ください。 - 長期間充電せずに放置されていたバッテリーは完全放電により内部で損傷を起こしている場合があります。バッテリーは3ヶ月を目処に再充電するようにしてください。
モーター音はなるが回転が弱々しい、回らない。	<p>使用中、急にタイヤの回転が悪くなったり、進行しなくなった場合は一度停止しバッテリーを休ませてください。そのまま使用を続けると、内部トラブルに繋がる恐れがあります。</p>
バッテリーが熱い	<ul style="list-style-type: none"> - バッテリーは通常の使用時や充電中熱くなることがあります。内蔵ブレーカーが落ちるようになったバッテリーは残量が残っていてもそのまま使用を続けずに休ませてください。 - 異常に高温になっている場合にはただちに使用を停止しバッテリーを交換してください。

